

令和6年度 都城市立川東小学校 学校関係者評価書

(4 期待以上 3 ほぼ期待どおり 2 やや期待を下回る 1 改善を要する)

学校経営ビジョン		3C (Chance, Challenge, Change) の精神で教職員が良いと思うことを進んで実践し、児童が毎日元気よく登校し、生き生きとした学校生活が送れるような学校づくりに努め、児童や保護者、地域に信頼される学校を創造する。																						
重点項目	評価指標	具体的な数値目標等	結果及び考察・改善策等	自己	関係	学校評価者評価コメント																		
確かな学力の向上	1 「分かる・できる」授業が工夫され、児童が主体的に学びあって学習に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> 児童意識調査アンケートで授業が「わかる・できる」と回答する児童が80%以上を達成する。(知育部) 	上学年90%・中学年80%・下学年92% 子どもが主役の授業改善について職員が意識的に実践している。	4	4.0	<ul style="list-style-type: none"> 「確かな学力」の本当の意味は、何なのでしょう。授業が「わかる・できる」は当然のことですが、確かな学力が身に付いたかどうかを評価するのはテストの結果だけではないと思うので大変難しいことだと思う。 「子どもが主役の授業」を具体的にお示しいただけると幸いです。 子ども達が楽しそうに授業に取り組んでいる姿が印象的でした。 																		
	2 読書活動と音声言語活動の充実により、児童の読解力と表現力が向上している。	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館貸出冊数 15000 冊を達成する。 学期毎の目標読書冊数を低学年20冊、中学年15冊、高学年10冊を目指す。(知育部) 	<ul style="list-style-type: none"> 12月4日現在、11,500冊を達成。 ※学級貸し出しも含む。 読書記録を活用させることで、読書冊数の増加を目指す。昼休みの図書館の利用は増えている。 	3	3.3	<ul style="list-style-type: none"> 特に低学年時はジャンルが定まりきらないと思われそうですので、何でも良いから興味をもたせたいものです。 順調に貸出数が伸びていて素晴らしいと思います。図書室に行く機会が増えると本を読む時間も増えると思います。 																		
	3 個に応じた指導の充実により、基礎学力が定着している。	<ul style="list-style-type: none"> 主要教科(国語・算数)単元テストの学級平均が、期待平均以上を達成する。(知育部) 	習熟の時間は確保できるが、教科時数(国算)として計上し、習熟の時間にあてる方がよい。 自立して家庭学習に取り組めるように、知育部・学級担任から啓発を行う。	3	3.1	<ul style="list-style-type: none"> 目標に対する「結果」が記されていないので評価が難しい。 																		
豊かな心の育成	1 認め合い、支え合う仲間づくりができています。	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の心のアンケートを実施し、継続するいじめの件数を0にする。(徳育部) 	毎月、心のアンケートの集計ができていて、各月の結果を比較しながら共通理解を図り対策を練っている。	4	3.9	<ul style="list-style-type: none"> 物騒な事件・事故のニュースが毎日のように飛び込んでくる現在の世の中ですが「豊かな心」を育むことが世の中を明るくすると信じ、これからの実践を継続していただきたい。 具体的な対策が見えると更に良いと思います。 																		
	2 心の教育の充実を通して、児童に規範意識と人権感覚が育成されている。	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ、廊下歩行、履き物そろえの3つを柱として、児童の自己評価で80%以上を達成する。(徳育部) 	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>上</td> <td>中</td> <td>下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>挨拶</td> <td>88%</td> <td>82%</td> <td>94%</td> <td rowspan="3">規範意識を高めることができたので、定着できるよう全職員で指導に力を入れていく。</td> </tr> <tr> <td>廊下</td> <td>94%</td> <td>88%</td> <td>92%</td> </tr> <tr> <td>履物</td> <td>94%</td> <td>92%</td> <td>87%</td> </tr> </table>		上	中	下		挨拶	88%	82%	94%	規範意識を高めることができたので、定着できるよう全職員で指導に力を入れていく。	廊下	94%	88%	92%	履物	94%	92%	87%	4	3.9	<ul style="list-style-type: none"> 日頃の目標達成の成果が見られ街中(近隣)で良く挨拶してくれます。特に挨拶で大人も元気づけられます。 下校時、見回り等で児童に会うと元気に挨拶してくれます。学校の廊下では、こちらから挨拶すると返事をしてくれます。移動中は無言なのでしょうかね？ 地区の中高生まで挨拶をしてくれる子供もいる。小学校での指導が繋がっていると感じる。 民生委員の挨拶運動で児童の皆さんに挨拶しているが、半数は挨拶ができていない。家庭での日々の中で育んでいかないといけない。
		上	中	下																				
	挨拶	88%	82%	94%	規範意識を高めることができたので、定着できるよう全職員で指導に力を入れていく。																			
廊下	94%	88%	92%																					
履物	94%	92%	87%																					
3 児童に対人関係調整能力やコミュニケーション能力が育成されている。	<ul style="list-style-type: none"> 学期末の児童の自己評価で「友達となかよくできている」と回答する児童70%以上を達成する。(徳育部) 	上82% 中80% 下90% 各学級において日常のお互いを認め合う意識づけが行われている。	4	4.0	<ul style="list-style-type: none"> 相手を思いやる心が育っているのだと思います。素晴らしい！ 																			
4 児童にとって心理的安全性の高い学校であり、身体的・精神的・社会的に良好なウェルビーイングな学級・学校づくりを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 学期末の児童の自己評価で「学校が楽しい」と回答する児童80%以上を達成する。(徳育部) 	各月のアンケートでは、各学級2,3人は楽しくないと答えている児童がいる。その都度話を聞いて解決に向かっている。	4	4.0	<ul style="list-style-type: none"> 「ウェルビーイング」という新たな用語が、また使われ始めたが具体的な内容が不鮮明であり、これを具現化する現場の先生方は苦労されているのではないだろうか。 児童の心理状態は人に上手く伝えられない面があり、そのことが学校での誰のことか又家庭での理解できないことなのか難しいですね。 教師が児童一人一人と向き合っていることが素晴らしいと思います。 																			
健康・体力の向上	1 児童一人一人の基礎体力が向上している。	<ul style="list-style-type: none"> スクールスポーツテストの結果を全学年県平均以上にする。(体育部) 	2・5・6年は県平均を上回った。コロナ渦を経て、外遊びやできるようになり、運動することで体力がついてきたのではないかと。	3	3.3	<ul style="list-style-type: none"> 特に天気の良い冬場など、運動場で走り回る姿が大いに見てみたいものです。 暑い日や寒い日でも室内等で体力向上できるメソッドがあると下学年の児童も取り組みやすいのではないのでしょうか。 公園等で学年を隔てず遊んでいるのを目にする。コミュニケーションの向上や体力をつけるのにも、とても良いことだと思う。 																		

健康・体力の向上	2 自らの健康に関心を持ち、病気やけがの予防、バランスのとれた食事を摂ることに努めている。	<ul style="list-style-type: none"> 全校児童が感染症予防に努め、正しい手洗いの仕方を身に付けることができるようにする。(体育部) 学期末の保護者の自己評価で「朝ごはんを食べる習慣が定着している」と回答する保護者 80%以上を達成する。(体育部) 	<p>校内放送で曲に合わせて手洗いをを行うよう指導することで定着してきている。</p> <p>朝ごはん 保護者 98% 食べさせている。→前回より上回った。保護者へも結果を周知し、このまま継続していきたい。</p>	4	4.0	<ul style="list-style-type: none"> 継続できるよう宜しくお願いします。 手洗い、うがいは生活の基本として捉え、家庭でも慣習として育みたい。 朝ごはんを食べさせている保護者が98%になり、朝ごはんの大事さが保護者に伝わっていることが分かります。先生方の取組の成果が出ていると思います。 感染症の予防方法についてこれからも継続して指導してほしい。
	3 安全教育や防災教育を通して、児童の安全意識や危機回避能力を高めている。	<ul style="list-style-type: none"> 命に関わる事故0件をめざす。(德育部) 	<p>学年に応じて実態に応じた指導をしている。各避難訓練も計画的に実施でき、児童の安全意識や危機回避能力が身に付いてきている。</p>	4	4.0	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の努力の賜物だと思います。 (個人的ですが) 救急法【スクール講座45】を6年生に受講させてあげてください。
家庭・地域との連携強化	1 HPや学校だより、参観日で、保護者や地域の方が学校の様子をよく分かっている。	<ul style="list-style-type: none"> 参観日の出席率が70%以上になるようにする。(教務部) 保護者の学校評価で「HPや学校便りを見ている」の回答を80%以上にする。(教務部) 	<p>保護者の参観日参加率70%以上</p> <p>HP閲覧4月518,186→12月685,972</p> <p>学級通信・HPに目を通していかとの問いに、保護者の92%が全て目を通して回答があった。今後も情報発信を続ける。</p>	3	3.6	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営に対する保護者の意識が高いことは、とても良いことで評価できる。 92%はかなり驚異的な数値。啓蒙だけでなく内容の工夫が興味に繋がっていると思います。 HPの更新もこまめにしていって校内での子ども達の様子が書かれていて良いと思います。 シグフィーでの情報は紙面よりも早く見落とすことも少ないのもっと活用してほしいです。 ご夫婦で参観日に来ている様子を見ます。
	2 学校運営協議会と地域学校協働本部の連携と協働が進んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> 低・中・高学年部で年間各1回程度の地域貢献活動を実施する。(教務部) 	<p>地域貢献活動は年間計画通りに実施した。今後も児童からのアイデアを積極的に取り入れていきたい。</p>	3	3.6	<ul style="list-style-type: none"> 仕事(職場)も多種ある中、その職場見学の機会を設けるのも良いでしょうが、カリキュラム上難しいでしょうか? 地域の方と一緒に公園等の清掃をしていただき、ありがとうございます。自分達が遊ぶ公園を自分達で掃除することはとても大切な経験になると思います。 祝吉地区ふれあい文化祭や、あやめ祭りへの周知をより多く家庭にしていただけたら幸いです。
	3 地域の人材や施設等を利用した学習が充実している。	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の学習をとして、年間2回程度は地域人材や施設を利用した学習を実施する。(教務部) 	<p>ふるさと参観日は地域ボランティアの皆様のご協力のおかげで計画通り実施できた。今後も各学年で地域連携等の活動を計画的に実施していく。</p>	3	3.4	<ul style="list-style-type: none"> 公民館を中心に学校に対する支援の意識が高い地域性があると感じる。それに対する学校の対応が良く相乗効果が現れているのではないと思う。 地域の方々も子ども達との交流を楽しみにしています。良い取組だと思います。
学校の組織力の向上	1 業務改善により、職員が働きやすくワークライフバランスのとれた働き方ができている。	<ul style="list-style-type: none"> 1か月の残業時間が、45時間を超える職員数が10%以下になるようにする。(管理職) 職員の自己評価「働きやすく、やりがいをもって業務を遂行している。」の回答を70%以上にする。 	<p>残業時間が45時間を超える職員6.3%</p> <p>働きやすくやりがいをもって業務を遂行している職員87%</p> <p>授業時数や学校行事、会議等の精選や改善を行ったことで、授業準備や教材研究、児童とふれあう時間を確保することができた。</p>	3	3.3	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育の目的を達成するためにも先生方にゆとりをもって業務を遂行することのできる環境作りが必要。現在の学校現場はあまりにも業務内容が多すぎると思う。根本的な取捨選択をしてスリム化する必要があるのではないか。 87%はすばらしい!今後も続けてもらいたい。
	2 社会の要請を敏感にとらえ、教育活動の充実に向けて、授業力や生徒指導力を高めている。	<ul style="list-style-type: none"> 職員が学習指導要領に沿った学習内容と学習方法を進めている。(管理職) 適切な生徒指導により、学級崩壊等の発生を0(ゼロ)にする。(管理職) 	<p>主体的・対話的な深い学びの授業改善を図りながら、各学年において授業の改善に努めている。ICT活用については昨年度より向上しており、授業や学校事務において積極的に活用している。</p> <p>学校全体が落ち着いて学校生活を送ることができている。</p>	3	3.0	
	3 職員がチームとなって情報を共有し合い、問題等への迅速・誠実・的確な対応ができている。	<ul style="list-style-type: none"> 事案について、ほとんどの職員が正確に把握している。(管理職) 問題等について家庭等へ迅速、丁寧、誠実な対応を行う。(管理職) 	<p>職員が報告・連絡・相談を徹底して、組織的に対応することができている。今後も問題発生時に関係職員と連携して情報を共有し、迅速に解決できるよう組織的に対応していく。</p>	3	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ○すばらしい取組だと思います。
	4 特別支援コーディネーターを中心とした支援員や関係機関等との連携した支援体制づくりを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 職員の自己評価「児童の個性や特性に応じた配慮や支援ができている。」の回答を70%以上にする。 	<p>個性や特性に応じた配慮支援94%</p> <p>これまで以上に特別支援担任と通常学級担任との連携が図られるようになり、支援の手立てについて共通理解・共通実践できた。</p>	3	3.3	<ul style="list-style-type: none"> 校長先生を中心とした学校運営の様子がうかがえて頼もしく感じた。今後も川東小が一体となって躍進されることを期待しています。 大切な支援だと思います。引き続きよろしくお祈りします。